

新居浜市の研究にご参加いただいた皆様へ

研究へのご協力をお願い

ちいき進かがく株式会社および愛媛大学大学院農学研究科では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、参加者の検査結果の記録や検査の後に保管されている残った試料（血液）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、過去の情報や保管されている試料（血液）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	ユビキノール(還元型 CoQ10)による認知機能への効果に関するメカニズム検証：保存血清を活用した分析
研究機関名	ちいき進かがく株式会社、愛媛大学大学院農学研究科
試料・情報の提供を行う研究機関の長	ちいき進かがく株式会社 代表取締役 木下 徹 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	ちいき進かがく株式会社 代表取締役 木下 徹
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2025 年 7 月 31 日
対象となる方	2019 年 10 月から 2020 年 5 月に新居浜市で実施した研究「ユビキノール(還元型 CoQ10)の摂取による認知機能の維持に関する効果および口腔細菌叢への影響：プラセボを対照とするランダム化二重盲検試験」に参加された方
利用する試料・情報等	(利用する過去のデータ) 性別、年齢、生活習慣アンケート、血液検査データ、認知機能検査結果 等 (利用する試料) 当時の研究の後に残った試料（血液）
研究の概要 (目的・方法)	保管していた血液の分析を行い、BDNF (Brain-Derived Nuerotrophic factor 脳由来神経栄養因子) という項目を調べます。BDNF は脳内で生成されるタンパク質で、神経細胞の生成・分化・保護の役割を持ち、海馬や大脳皮質などの学習や記憶に関する領域で活性化されることが明らかにされています。今回、BDNF の量の変化を調べることで、ユビキノールによる認知機能の変化と BDNF の量がどのように関連しているかを検証することができます。

個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など参加者を直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。参加者を特定するための情報（対応表）は、研究責任者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	ちいき進かがく株式会社 代表取締役 木下 徹（愛媛大学大学院農学研究科 客員研究員） 〒791-0243 愛媛県松山市平井町 1383-2 Tel: 089－904－7811